

ものであります。乃ち、東京に永久的施設を創立して、歐洲文化中、立派に一般の認めてゐる顯著なものと、日本の文化との融合に資することは、諸氏の言はれた所であり、實にこれに依つて、諸氏が直接、來るべき將來の爲に働き、歴史の赴く方向に進んで居られる事が偽でないのを、お認めになる事が出来るのであります。かくて、全文明の爲に、諸氏が盡された所を、貴國の最大の榮譽として、次の時代が愈々益々其の眞價を知る様にならうとは、私の確信する所であります。

此の囑望すべき東西兩洋の接近に志を有するもの、中に、東洋學者がおります。後代彼等に人道學者の美稱を以てする時もある事と思はれますが、蓋し、假令自覺してゐると否とを問はず、嘗つて文藝復興期に働いた者の如く、彼等は凡人も英傑も皆悉く、將來の人道が花を開かんが爲に働いてゐるのであります。而して、諸氏が齊しく、日佛會館の任を、私の師であり友であるシルヴン・レギ氏に委ねる事とせられたのも、丁度その人を得たものでありましょう。フランス大使閣下からは、今後、同氏が近く此の前線の役について、